浜松歯科衛生士 専門学校

学校だより

梅や桜の木々たちもすっかり新緑が眩しい季節になりました。37期生44名は3月10日に 巣立っていきました。3年間で学んだことを礎にプロの歯科衛生士として成長していってほ しいと願っています。学校は40期生を迎えました。節目ともなるこの40期生より白衣を一新 しました。入学後には、『白衣に似合うヘア&メイク』の授業で健康的な身だしなみを学びま した。回数を重ねるごとに素早く整えられるようになると思います。5月には初めての臨床実 習に行きますので実習施設の先生方、ご指導のほどよろしくお願い致します。



ご挨拶 曽根智子

この度、4月より専任教員となりました曽根智子と申します。この学校を卒業してから今年3月までの約30年間、現場で多くの臨床経験を積んできました。

臨床で見てきたこと、経験してきたこと、心で感じたこと…。 多くのことを学生に伝え、口腔の健康に貢献できる歯科衛生士の 育成に全力で取り組んでまいります。よろしくお願い致します。







入学 1年 藤川奈南

この度、私たちは浜松歯科衛生士専門学校で 入学式を迎えることができました。新型コロナウ イルスがまだ収まらない厳しい状況の中、入学式 を挙行して頂けたことを嬉しく思います。

3年間で専門的な知識や技術を身に付けることはもちろん、コミュニケーション能力や判断力、正しい言葉遣いなど多くのスキルも磨いていきたいと思っています。初めて見る言葉や器具が多く勉強についていけるか不安もありますが、同じ歯科衛生士を志す仲間と共に支え合いながら勉学に励んでいきます。そして、患者さんに信頼され、安心感を与えられるようになりたいです。このような立派な歯科衛生士になるために校長先生ならびに諸先生方、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

私たち新入生はこの伝統ある浜松歯科衛生士専門学校の学生であることに誇りと自覚を持ち、1人でも多くの人が健康な生活を送れるようサポートのできる歯科衛生士を目指していきたいです。





卒業 37期 松井心那

思い返せば3年前、一人暮らしを始め新しい地で不安や緊張感を持ちながらも、これから学校生活が始まる大きな期待を胸に入学しました。初めて触れる器具や数多い専門用語に戸惑いながらも、同じ目標に向かっていくクラスメイト同士で助け合い、必死に毎日を過ごしているうちに、わかることやできることが増えていき、今日まで、瞬く間に過ぎてしまったような気がします。

ろうそくの灯りのもと、厳粛な空気の中行われた戴帽式ではキャップを戴いたとき、これから医療に携わる責任の重みを感じ、身が引

き締まりました。新型コロナウイルスの影響を受け、大変な状況下でも、私たちの実習を引き受けてくださった 実習先の方々には感謝の想いでいっぱいです。実際に 治療を見て、患者様と関わることで知識や技術が自分 のものになっていく喜びを感じました。また、歯科衛生 士の役割と責任を感じると共に、その素晴らしさにも気 付くことができました。国家試験対策ではグループで励 まし合いながら毎日勉強に取り組み知識を深めていく ことができました。優しい仲間に恵まれ最後まで切磋琢 磨できたことに感謝しています。

これから、医療従事者の一人として口腔から全身の 健康づくりを支え、人々の生活を豊かにし、思い描いた 斗衛生士となれるよう日々精進していきたいです。

















業式		
第1字段		
limin		